

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第293号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2010年11月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP\*NEWS

新校長就任 片桐知己治新校長

合同体育祭開催!!

第46回建学祭“Step and Go!” 入場者数5,857名



この門を5,857名が通りました



中等部の学習発表



練習の成果をすべて出し切りました!(合唱祭)

## 退任にあたって

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

前校長 杉 一郎



仲秋の候 皆様に於かれましては益々ご健勝のことと拝察いたします。さて、私事、此の度、9月30日を以って、本校の校長職を退任することになりました。6年半にわたって皆様には一方ならぬご厚情に与り、心より厚く御礼申し上げます。とりわけ後援会、部活動後援会、高輪会等の皆様には大変お世話になりました。

振り返りますと、この6年余は、本校の長い歴史の中で、まさに“飛躍”の歳月ではなかったかと思えます。むろん、それに至る以前の多くの皆様や教職員のご尽力によって成された盤石の礎があったからこそであります。

なかでも中等部の新設は、高輪台の歴史の中に新しい息吹をもたらしてくれました。中高大一貫の10年間教育を謳ってきただけに、喜びも一入でありました。それは、東海大学への進学がおよそ90%に達したことで実現できたことでもあります。建学の

理念を基に一貫教育の中で理想の実現をめざすという形が着実に達成できようとしています。「進学校だが受験校ではない」「全校生徒の文武両道をめざす」という付属高等学校ならではの教育の姿が見えてまいりました。これも偏に生徒一人ひとりの“飛躍”がこれを可能にしてきたと固く信じております。

今後は法人本部の常務理事・初等中等教育部長の職に専念いたしますが、さまざまな機会を捉え、付属高輪台高等学校ならびに中等部を応援してまいりたいと存じます。新しく校長に就任いたしました片桐知己治先生のご指導のもと、教職員と生徒の皆様がひとつになって理想の教育の実践と、よりよい学校づくりに向けて前進されることを希望いたします。

東海大学付属高輪台高等学校・中等部の益々のご発展と皆様のご活躍を心より祈念いたします。長い間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 就任にあたって

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

校長 片桐 知己治



杉前校長の退任に伴い、10月から本校の校長に就任いたしました。

14年半前に杉先生と私は一緒に本校に異動してきました。杉先生は本部から、私は静岡の第一高校（現翔洋高校）からの異動でした。新校舎建設、男女共学、文部科学省によるSSH指定、中等部設立、学習と部活動の両立…と本校大転換の14年半でした。杉先生が6年半前に本校の校長に就任してからは、教頭、副校長として杉先生を補佐する形で歩いてきましたが、5月に杉先生が学校法人東海大学の常務理事に就任され、今まで以上に激しくなる業務の中、常務理事・初等中等教育部部長に専念する決断をしたことはとても辛いことだったのでと推測いたします。なぜなら、杉先生ほど、この高輪台を思っていた人を他に思い浮かべられないからです。どのよ

うな立場にあっても、常に、本校のこと、本校の生徒、保護者、卒業生のことが杉先生の頭から離れたことはありません。その杉先生から校長のバトンを渡された私は、責任の重さをひしひしと感じています。

まず、私の仕事は、年度途中の校長交代ということで混乱が発生しないように、これまでの本校の指導スタイルを保ち、更なる前進をさせることにあると思います。幸い本校には熱意溢れる140名の教職員と、優秀な生徒諸君、そして、本校をバックアップしていただいている保護者の皆様や、卒業生の皆様がいいます。私も今まで以上に全力で頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

また、杉先生におかれましては、常務理事として、学校法人東海大学全体を見つめる立場で、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

## 2010年度学校運営方針④

11月16日、17日、2010年度第2回一斉公開授業が行われます。たくさんの保護者の方々をお迎えし、授業を見学していただき、忌憚のないご意見を伺えればと思います。お忙しいところですが、ぜひ公開授業に足を運んでいただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

また、25日には第3回生徒による授業評価アンケートを実施し、後期中間試験までの授業の評価を受ける予定です。それぞれの授業担当者は前期に受けた授業評価アンケートによる問題点を改善できたでしょうか。まだ改善がなされていない分野に関しては、今後いっそうの努力を重ねていきたいと思っています。

### 全教科において公開・研究授業を推進し、 『教えるプロ』としての教員の 資質向上を目指す

- ・年間を通じて、常に授業を公開する。
- ・授業見学がしやすいように、定期的に年2回3日間、一斉公開授業日を設定し実施する。

### 「生徒による授業評価アンケート」の 結果を受けて、 授業改善の期間と数値目標を設定し、 組織的な(各教科)授業改善に努める

- ・教員の授業自己点検を行うと同時に、「生徒による授業評価アンケート」の結果から授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的(各教科など)な授業改善に努める。
- ・授業改革・授業評価の推進と定着をはかる。

アンケート結果の自己分析

↓  
改善目標の設定  
↓  
生徒への説明  
↓  
授業改善  
↓  
信頼



# 建学祭開催



## 建学祭を終えて

建学祭実行委員長 小林 奈々 3年2組 横浜山手中華学校出身

10月9・10日に私たち3年生にとって、最後の建学祭が開催されました。今年は、準備期間も建学祭当日も天候が悪く、傘をさしながらも皆で協力して作業を進めることができました。その中で各団体が共に盛り上がり楽しい思い出ができたと思います。

また、雨にもかかわらず、去年よりも多くの方にきていただくことができとてもうれしく思います。今年の建学祭のテーマは「Step and Go!」でしたが、全員が今後に向けて新たな自分や出会いを発見することができたでしょう。来年は、中中部、高校1、2年生は、今年よりも更に素晴らしい建学祭を作り上げてください。

最後に、各団体、建学祭実行委員の皆さんの協力に感謝いたします。

## 合唱祭

### No.1

### 遠藤 岳

1年A組 品川区立小中一貫校伊藤学園

僕は今回の合唱祭で思ったことがあります。それは、クラスみんながまとまったことです。僕たち1年A組はいつも騒いでいて先生に怒られてばかりいました。でも、この合唱祭で大きく変わることができました。先生に「頑張れば金賞がとれるかもしれない」と言われて最初はやる気があったのですが、だんだんやる気がなくなってしまいました。あのままだったら金賞はとれなかったと思います。でも建学祭までの最後の1週間、全員がやる気を出して必死に練習するようになりました。そして本番、見事金賞をとることができました。あの時は、本当にびっくりしましたが、とてもうれしかったです。

合唱祭 結果	
金賞	1年A組
銀賞	3年B組
銅賞	2年B組
指揮者賞	1年A組 鈴木美咲
伴奏者賞	2年B組 前原純平

## 英語スピーチコンテスト



左から木内君、村上君、松井さん、グレッグ先生

### What's done cannot be under.

### 木内 一希

1年4組 台東区忍岡中学校出身

私は、どんな結果が出ようとも絶対に後悔しないようにすると1番最初に決めました。ですから、スピーチが終わった時も後悔ではなく達成感でいっぱいでした。優勝が決まった瞬間も実感はなく、時間の経過とともに改めて感じました。このような結果を残すことができたのも担任の羽部先生を始めとするネイティブの先生方やクラスメイトたちのおかげです。心の底から本当に感謝しています。ありがとうございました。Thank you very much. And good luck for everybody!!

## 日本語ディベート大会 2年8組優勝

### ●日本語ディベート大会論題●

「高輪台高校はアルバイトを認めるべきである。是か非か」

### 日本語ディベートで優勝して 清水 宏二郎

2年8組 大田区立蓮沼中学校出身

私はこのディベート大会を通じてたくさんのことを学ぶことができました。例えば人に自分の伝えたいことを伝える難しさです。そしてクラスメイトともディベートを通して更に絆を深めることができました。ディベートのメンバーはもちろんのこと、それを陰で支えてくれたクラスメイトや担任の先生に感謝したいです。そして私たちに色々指導してくださった梶川先生にお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

本番当日は正直緊張しました。しかし色々な人の支えがあったので楽しめました。1つ残念なのが論題について話が噛み合わなかったことです。8組も9組も相当調べて臨んだのですが、話が噛み合わなくて驚きました。そこまでディベートは甘いものではないと思いました。

このディベート大会のおかげで今年の建学祭もすごく楽しめました。私は1年生の時にもスピーチコンテストで舞台上がっているの、これで2年連続で舞台上がったことになりました。来年も舞台上で英語のディベート大会に出られるように頑張りたいと思います。ディベートで学んだことを生かして、これからも努力し続けます。



優勝した8組のメンバー 左から高橋さん、戸田さん、葉山君、酒巻君、清水君

## 英語ディベート大会 3年9組優勝

### ●英語ディベート大会論題●

“Takanawadai Senior High School students should be able to have a part-time job.”

### 苦手な英語で優勝

### 相馬 大祐

3年9組 川崎市立富士見中学校出身

私は英語が苦手なので、メンバーに選ばれたときは複雑な気持ちでした。早速放課後残って考えてみると、内容を英訳する前に相手の考えを予測して原稿にする必要があることに気づき、英文作りに苦労しました。

決勝では予測とは違い、大勢の人たちの前で行ったので、とても緊張しましたが、最終的には優勝することができました。

私はこの経験から英語を使い、自分の考えを表現できるようになりたいと思いました。



優勝した9組のメンバー

## 2010年度 第5回知財グランプリ結果

今年の建学祭は、初日が雨、2日目も朝は雨でしたが、天候が急速に回復したこともあり、入場者数は昨年を上回る5,857名のぼりました。知財グランプリの審査をして印象に残ったのは、内容・装飾もさることながら、生徒の取り組みの姿勢でした。クラス一丸となって来場者を丁寧に迎えているクラスもあれば、一部の人に任せて、自分たちだけでおしゃべりに夢中になっているクラスもあり、こうした姿勢の違いが審査員の評価にも反映されたようです。高校1・2年生は今年の受賞団体を参考にして、来年はさらにグレードアップを図ってください。ところで、受賞した団体名の共通点、わかりますか？



### グランプリ 2年4組 はシンデレラ城

お客さんがシンデレラ役になり、ストーリーをたどりながらゲームをしていく、なりきりゲーム。憎い継母や姉たちに見たてた空き缶倒しから始まり、ガラスのハイヒールに合うシンデレラの足当てなどをして、最後に王子様との未来を占うというアイデアは秀逸でした。さらに生徒の丁寧な説明、応対も高い評価を集めました。ゲームの多かった展示団体の中でも際立っていました。

### 準グランプリ 2年9組 Casino Tam Tam

受付で渡されたチップを元手に4つのコーナーで、ポーカー、ブラックジャック、ババ抜きなどのトランプゲームを楽しみながらカジノ気分が味わえるというシンプルな内容ながら、装飾・ゲームの説明・応対など、すべてにおいて洗練されていました。



### 3年4組 やすえの愛した ホットケーキ

ホットケーキというシンプルなメニューながら、生地が3種類、ソース類が5種類にアイスが1種類と、8種類のバリエーションが

楽しめるメニューが好評でした。メニューを説明する看板もわかりやすく作られており、生徒の応対も高い評価を得ました。



### ポスター部門賞 2年4組 はシンデレラ城

クラス担任の橋先生にかけた展示団体名をペーパークラフトで立体文字にし、シンデレラ城も立体的に浮かび上がらせたポスターは、他の作品の追隨を許さない高い評価を得ました。グランプリとの初のW受賞です。

## 絵画の寄贈のお知らせ

本校元教員の杉本由明画伯(新作家美術協会)より150号(変形)の大作『安全地帯』を寄贈頂きました。本校が生徒にとっての「安全地帯」であることを願っての寄贈でしょうか。生徒玄関に展示させて頂く予定です。

『安全地帯』杉本由明画伯(2008年)



# 中等部1学年だより

## ☆ 4代目 初の建学祭 ☆

去る10月9日(土)・10日(日)、中等部1年生にとって初めての建学祭が行われました。どの子もとても楽しみにしていたようで、2日間充実した時を送れたようです。高校や中等部の先輩の展示教室を見て回ったり、模擬店を楽しんだりしていました。また、中等部1学年は学習発表を行いました。自分たちの作った作品について一生懸命説明し、廊下では大きな声で呼び込みをするなど積極的に活動してくれました。

### 建学祭を終えて学んだこと

西田 隼

1年A組 仙台市立七北田小学校出身

僕は建学祭を終えてクラスメートやB組の子と協力することの大切さを学びました。最初にそのことに気がついたのは、建学祭の準備の時でした。ぼくが机を運ぼうとしていたら、誰かが「持つよ」と言ってくれました。とてもうれしかったです。そして周りを見渡してみると、他の人も互いに頑張っていました。その時に、みんなと協力することの大切さを学びました。

また、合唱祭の練習の時にも学んだことがあります。練習をしていくにつれてだんだんとうまくなっていくのが自分たちでもわかりました。これも一人ひとりが頑張ろうと思っていたからだと思います。なので、本番の合唱祭で金賞をとれた時は、本当にうれしかったです。こういうところにも、協力することの大切さを学びました。

### 建学祭について

長瀬 悠太郎

1年B組 港区立白金小学校出身

建学祭で、学習発表と部活動(物理化学部)でやっている研究発表をすることになり、とても緊張していました。

建学祭の準備の日は学年のみんなと力を合わせて作品展示をすることができました。部活動でも自分の研究についてうまく発表できたのでよかったですと思います。

けれど、少し遊んでふざけてしまうこともあったので、来年からはふざけたりしないでみんなと協力し合って、更に建学祭を成功させたいと思います。

初めての建学祭を終えて学んだことがいくつかありました。それは、大変なことでもみんなと一緒に力を合わせてやれば上手くできるということです。そして、一生懸命最後まで諦めずにやることの大切さもこの建学祭で学ぶことができました。このことを忘れずに来年も頑張りたいです。



4月に行った三保の松原をイメージして(ちぎり絵)



作品についての説明も頑張りました



東京タワーと学校(ちぎり絵)。根気よく頑張った甲斐がありました!



受付では元気に挨拶「こんにちは」



大勢のお客さんが来てくれました



スタンドカラーも大好評でした☆

# 中等部2学年だより

## 建学祭 中等部2年 クラス展示・発表 テーマ「科学未来館で学んだこと」

今年の建学祭は、日本科学未来館で学んだことを発表・展示しました。「深海」・「地球」・「宇宙」の3班に分かれて研修した内容を基に生徒たちが色々と工夫をこらし、展示・発表をしました。

### 中村 実歩

2年A組 品川区立伊藤小学校出身

私たち中等部2年生は、科学未来館で学んだことを発表しました。できるだけ来てくださったお客さま方に、わかりやすく楽しんで、環境について知っていただくために、発表の仕方を工夫しました。クイズ形式にしたり、模型を作ったりしました。

私は模型を作る班だったので、ペーパークラフトで模型を作りました。細かいところを切ったり、のりで貼ったりする作業がとても大変でした。でも、みんなで協力して作業を進めたので出来上がりは満足できるものになりました。

私は、クラスの仕事以外にも建学祭実行委員として建学祭正門作りの仕事に参加しました。放課後に高校生の先輩方と一緒にダンボールを組み立てたり、色を塗ったり、色々な作業をしました。実行委員みんなが一生懸命取り組んだ力作なので、ぜひご覧ください。

### 長尾 明日香

2年B組 板橋区立志村小学校出身

私たち中等部2年生のクラスでは、日本科学未来館で学んだことをポスターやクイズなどにして発表しました。「深海」・「地球」・「宇宙」の3つの分野に分かれて、それぞれポスターを作りました。よく理解してもらうためにクイズや模型やクロスワードを作って工夫しました。

私は建学祭実行委員だったのであまりクラスの方は手伝えませんでした。色々案を出しながら協力しました。私たちが特に力を入れたのは模型です。模型は、地球儀と深海の様子とスペースシャトルを作り、展示しました。私が特に印象に残ったのは、宇宙環境の分野のスペースシャトルです。なぜかという、粘土で作ったのにもかかわらず、とても迫力があつたからです。他の模型もよくできていましたが、私には一番印象に残りました。来年の建学祭でも今年色々経験したことを生かして、更に良いものができるように頑張りたいと思います。



装飾、完成



A組 ファイト



B組 やるぞ



展示、頑張りました

# 中 等 部 3 学 年 だ よ り

## 中等部最後の建学祭・合唱祭

中等部3学年では来年2月に行くニュージーランド研修にむけて、ニュージーランドに関する学習発表をしました。ただ学習した内容を展示するのではなく、楽しくニュージーランドを知ってもらうために、クイズと迷路の要素を取り入れました。準備の段階から全員が協力して取り組み、当日もスタッフとして精力的にお客さんの対応にあたりました。素晴らしい発表をすることができました。

### 田中 亮太

3年A組 大田区立調布大塚小学校出身

今回は中等部最後の建学祭でしたが、正直ここまでみんながやる気を出すとは思いませんでした。最初は過半数の人がやる気がなかったと思います。僕も全然やる気がありませんでした。歌なんて歌う気すらありませんでした。けれども女子は違いました。歌の練習の時に、女子が泣き、先生も泣いたのです。僕はびっくりしました。女子のやる気が男子を変えました。少しずつ男子が動き始めたのです。

建学祭準備でも歌の影響もあってかみんな一生懸命にやっていました。僕もやりました。やる気って伝染するんだな、と思いました。本当にすごいと感動しました。そして素晴らしいものができました。歌もよかったです。僕はやる気って伝染するということが今回びっくりしました。数人がやる気を出せば変わるんだと思いました。

### 〈展示来場者の声〉

- 全然知らない人とも協力して楽しかった! 展示も説明もよかったです!!
- 製作中の写真が楽しそうで、一生懸命やっているのがわかります。よかったです。
- よく調べていて、とても楽しいクイズばかりでした。  
スタッフのみなさんが全員男女共にかわいかったです。
- 質問が難しかったけれど、必死で展示を読んで答えました。おかげでNZ(ニュージーランド)のことがよく分かりました。  
みなさんにもとても役立つ展示になりましたね。
- クイズとすごろくが楽しかったです。



合唱祭ではA、B組ともに金賞を目指して全力で歌いました!! 本番当日の朝の練習もとても熱の入ったものでした。本番では、歌はもちろん鑑賞の態度も素晴らしく、講評で教頭先生からおほめの言葉をいただきました。結果はB組が銀賞、A組は入賞なし、と残念な部分もありましたが、クラス、学年の気持ちが一つになった最高の合唱祭でした!!





# 高校1学年だより

高校初めての建学祭。英語スピーチコンテストも無事に終わりました。代表者全員、素晴らしいスピーチでした。またクラスでは、全てのクラスが展示で参加しました。一言ずつ、コメントをもらいました。



## 1組 稲垣 雄也

すごく楽しかったです。みんな団結して手伝ってくれてありがとうございます。



## 2組 亀本 理佳子

私は軽音楽部で初ライブをしました。お客さんも盛り上がってくれたので、私たちも楽しく演奏することができました。



## 3組 高橋 優輔

みんなで1つのものを作り上げる大変さと楽しさを知ることができました。クラスの仲が深まりました。



## 4組 小林 大翼

全員が協力して1つの物を作ることができ、僕たちの展示は大成功だったと思います。



## 5組 カールバーグ 充子

はじめはクラスのまとまりがなくて不安でしたが、当日は500人以上のお客さんが来てくださり大成功でした。



## 6組 佐藤 智也

難しい展示だったのでとても大変でした。でもクラスで協力してできたので6組の大きな財産になりました。



## 7組 東海林 優輝治

クラスでは各自協力し合いながらもよいポスターを作ることができたと思います。他にもダンス部・軽音楽部・吹奏楽部等の発表が素晴しかったです。



## 8組 高橋 侑紘

初めての建学祭でわからないことだらけでしたが、クラスで団結して最高のものことができました。



## 9組 佐藤 菜実

自分たちでルールを決めてみんなで協力できたと思うので良い経験になりました。とても楽しかったです。



## 10組 後田 さくら

人数が少ない分、夏休みに学校に来て準備をするなど大変でしたが、当日はみんな楽しんで取り組んでいました。

# 高校2学年だより

## 第2学年建学祭特集

今月号は10月9・10日に行われた建学祭での各クラスの催し物についてです。各クラスの一言と写真をお楽しみください。

### 1組

仕入れ先や経費のことで大変だったけど、クラス全員が協力し、完売できてとても嬉しかったです。皆本当にありがとうございました。(北島 眞子)



### 2組



2組はお団子とお茶の販売をしました。準備から当日までみんなでまとまって楽しくできました。みんな協力してくれてありがとうございました!(田丸 桃子)

### 3組

一人ひとりがみんなのことを考え行動し、協力し合えた建学祭でした。2-3「君とCHUロス」大成功!楽しかったね。(北風 愛佳)



### 4組



今宵、月が4組を照らす頃、舞踏会からグランプリの知らせが届きました。ついに!! 私たちは主役を勝ちとることができました。「まあ、プライドかな?」はシンデレラ城は永久に不滅!!!!!! (波多江 玉稀)

### 5組

初めての店ということで、準備段階から大変でしたが、全員で協力して何とかやりきることができました。この経験を次に生かし、来年は前庭で店を出したいです。(成瀬 宏子)



### 6組



VSまさし大成功!! 6組の団結力ははんばない!!なに!?なんなのこのクラス!!もうみんな大好きっ♡(田上 結衣・森田 ちひろ・安井 夏奈子)

### 7組

クラスみんなが団結し、協力し合えたからこそ建学祭が楽しいものとなり、クラスの絆が深まりました。準備期間から一人ひとりが自分の役割を果たしてくれたおかげです。(西村 嘉展)



### 8組

自分の準備不足のせいでクラスの仲間に迷惑をかけてしまったこともあったけれど、みんなが準備を頑張ってくれたおかげで大成功できました。とても感謝しています。(芦澤 優輝)



### 9組



昨年の経験を生かし、協調性を持って行動ができたように思います。また、装飾を含め達成感のあるものを造れたのでよかったです!(高田 真理菜)

# 高校3学年だより

今月号は10月9・10日に行われた建学祭での各クラスの催し物についてです。各クラスの一言と写真をお楽しみください。



## 【1組】

高校最後の建学祭で、いろいろなことがありましたが、先生をはじめみんなの協力のおかげで無事に終わらせることができました。感謝です!



## 【2組】

豚豚拍子で  
とんぺい焼き♪



## 【3組】

完売! 乾杯!  
おめで鯛!!



## 【4組】

準備段階では、お客さんの反応は想像ができなくて不安でしたが、「クオリティーが高い!」、「これで100円?」といったお褒めの言葉をいただきました。知財準グランプリも受賞でき、最高の思い出となりました。



## 【5組】

5組一丸となって作ったたこ焼きはどうでしたか? うまくできて本当によかったです!



## 【6組】

ほっかほっかのじゃがバターいかがでしたか?! 食べた人は元気がもらえたはず☆



## 【7組】

今年は、気温が低く売れるかが心配されましたが、ほぼ完売することができました! ありがとうございます!!

## 【8組】

寒い中焼鳥を焼いたら暑くなった。みんなの合言葉「あっつくね~?(>\_<)」



## 【9組】

まっふる(ワッフル!?) 完売!! ディベート優勝!!! 思い出に残る建学祭になったと思います。

# 第9回 中高合同体育祭開催



## 高校最後の体育祭

体育祭実行委員長 村中 優大

3年6組 横浜市立藤の木中学校出身

高校最後の体育祭は思い出に残るいいものになりました。1・2年の頃は実行委員だからという理由で体育祭に参加しているところがありましたが、今年はただ単にクラスや自分の色のために少しでも貢献したいという気持ちで本気で臨むことができました。

競技は一般的なものでしたが、本気でやれば盛り上がるのができるし、スポーツに限らず何事も本気になることが大事だと学ぶことができた体育祭でもありました。

後輩には来年以降、今年以上に盛り上がる体育祭にしてほしいと思います。



### 選手宣誓

中高代表が声高らかに宣誓!!



### 準備体操

女子バレー部のリードにて



### 棒引き

たかが1本、されど1本!!



### 障害物競走

息をあわせて



### 大縄跳び

スムーズに跳べるか



### 玉入れ

確実に入れるのは難しい



**台風の目**  
必死で走り抜く!!



**部活対抗リレー**  
各部活動の格好で



**大玉おくり**  
中1から高3まで一緒に行う唯一の競技



**大玉ころがし(昼休み)**  
教員も必死



**綱引き**  
呼吸をあわせて!!

**リレー(中等部)**  
クラスのために!!

「選手宣誓」と「準備体操」を除くこのページの写真は、写真部の生徒が撮影したものです。



**リレー(高校)**  
勇者たちの熱い戦い!!



**高校の結果**  
色別対抗

**優勝 青組**  
**準優勝 白組**  
**第3位 緑組**

	1年(クラス)	2年(クラス)	3年(クラス)
赤	3組・7組	5組・9組	1組
オレンジ	2組・8組	6組	8組
黄	1組・9組	3組	6組
緑	4組・10組	4組	2組・7組
青	5組	1組・7組	4組・5組
白	6組	2組・8組	3組・9組

**中等部の結果**  
赤(A)・白(B)対抗

**優勝 赤組(A組)**  
**準優勝 白組(B組)**

# TOKAI キャンパスメッセージ

今回は、国際学科から小貫大輔先生と本校卒業生の星久美子さん、松下友紀菜さんとのコラボメッセージです。星さんは、JAICAの青年海外協力隊に合格し、参加することが決まりました。

## 国際ボランティア活動 ～世界の運動・思想を「体験する」ことの醍醐味～

教養学部国際学科 准教授 小貫 大輔

私は、20代に旅先のブラジルで出会ったボランティア活動をきっかけに、国際協力を生涯の仕事とするようになりました。5年前に東海大学で教えるようになるまでの20年ほどの間、ブラジルなどの発展途上国で国際協力の仕事に携わり、帰国後も日本からブラジルのコミュニティ活動を支援し、日本に住むブラジル人の子どもたちの教育問題に取り組んでいます。

学生の中には、そんな私の仕事を手伝ううちに海外での活動に興味を深め、結局大学を休んでブラジルまでボ

ランティアに行ってしまった人が何人かいます。以下で紹介するのは、高輪台高校の卒業生で今年の3月までブラジルに行っていた2人の女子学生(4年生)です。2人は、それぞれ他のクラスメートたちとチームを組んで熱帯の漁村と大都市のスラムに別れ、コミュニティに入って地域の教育活動を手伝ってきました。出発前には駅前募金などとして資金を準備し、その資金を使って自分たちの計画した小さなプロジェクトを実現してもきました。

彼女たちも語るように、海外でのボラ

ンティア活動って地味で単純な作業の繰り返しでもあります。であると同時に、「貧困の撲滅」や「エイズとの闘い」、「子ども時代を守る」といった、人類社会が力をあわせて実現しようとしている、大きな大きな運動や思想に触れる体験でもあるのです。自分の信じる道を行きながら、同じ願いを抱く世界中の仲間たちと運命を共にする興奮と醍醐味。彼女たちも、そんな日々を体験してきたことと思います。1回ぼっきりの人生、みなさんは、広い世界のどこに自分を置きますか。

### 高輪台の卒業生より

教養学部国際学科4年 星 久美子

こんにちは! 私がみなさんと同じように高校生だった頃、学部選びに悩みました。私はダンス部で大会に向けて練習に励む毎日だったので、大学の進路など全く考えていませんでしたが、私は今国際学科で充実した学生生活を送っています。すべてを変えたのはブラジルでの半年間のボランティアでした。今まで全く接点のなかったブラジル。サンバ、サッカー、コーヒー……そんなイメージしかありませんでした。しかし、昨年3月、小貫大輔先生の引率する2週間のブラジルスタディーツアーに参加したことをきっかけに、「このまま残りの大学生活を過ごすのではなく、学生のうちに世界を見てみたい!」という感情が高まり、学内の空 Semester 制度を利用して半年間のブラジルでのボランティアを決めました。この決断が人生の大きなステップになり、転換となりました。帰国後、学生でグループを組み、外国人の子どもたちとキャンプの企画を組んだり、ブラジル人学校で子どもたちに日本語を教えるようになったりと、忙しい毎日です! 大学には、やりたいと思ったことが、可能になるチャンスがたくさん溢れています。興味があることをどんどん追求できる場だと思います。皆さんも、チャレンジする心を持って、学生生活を送ってください。



ワークキャンプ(ブラジル)の折にコミュニティセンター建設のお手伝い



ブラジルに半年間ボランティア活動に行ったゼミ生6人(ブラジル、セララ州の漁村にて)

教養学部国際学科4年 松下 友紀菜

「Bom dia! Tudo bem?」この言葉は、ポルトガル語で「おはよう! 元気にしてる?」という意味の言葉です。ブラジルでは、毎日一人ひとりと顔を合わせ、ほっぺたにキスをしてハグをする習慣があります。こんな温かく、出会ったばかりの人がすぐ仲良くなれちゃ、こんなブラジルの文化が大好きです。2年次のスタディーツアーをきっかけに、3年次には仲間3人と5ヶ月間ブラジルに滞在し、世界中から集まった若者たちと一緒に貧困地域において文化センター建設作業を行うキャンプに参加しました。その中で一大イベントとなったのが私たちの行った日本祭りです。前々から計画を重ね、当日は竹灯籠、箸、漢字で名前を書くワークショップや、竹ぼっくり競争、焼きそば、そしてソーラン節を行いました。日本人のボランティアたちでソーラン節を披露すると、周りから大勢の人が集まってきて最後は私たち日本人とボランティアたち、そして近隣の子どもたち、全員で「どっこいしょ〜どっこいしょ」と声を張り熱気を上げ、何回も繰り返し踊るほどでした。当日は、近隣の子どもから大人まで私たちの予想を超え、約150名が集まり、早くも「次はいつ日本祭りやるの? 焼きそばの作り方を教えて!」などの声を大勢の人からいただいた程で、「日本祭りをやってよかった!」といつまでも興奮がおさまりませんでした。あの時の、会場にいた全員が最高の笑顔を見せていた瞬間が忘れられません。何かあるとすぐブラジルでの経験を思い出して原動力にしている自分がいます。「国際学科に入って本当によかった!」母校高輪台高校で久しぶりにお世話になった先生に会った時、「今とても輝いているね。生き生きしているよ!」と言われとても嬉しかったのを覚えています。ぜひみなさんも自分の興味を探求し、最高の学生生活を送ってください。



ゼミ授業風景



ブラジル人の子どもたちを集めての「マルチカルチャーどろんこ青年キャンプ(2009年)」風景(星久美子さん)

# SSH活動報告

9月24日に、『リベラルサイエンス地学』で筑波にある地質標本館とJAXAに行きました。今回は1年SSHクラスだけでなく、普通クラスの生徒が13名参加しました。初めてSSHの講座に参加する生徒が多く、初めてのプレゼンテーションに戸惑っている生徒もいましたが、皆積極的に参加し有意義な時間を過ごしていました。これからも、たくさんの生徒にSSHの講座に参加してほしいです。

10月9日に、東京工業大学で行われた「プラズマ核融合学会高校生シンポジウム」で3年SSHクラスの生徒が『課題研究』の研究発表をしました。自分たちが行ってきた研究を堂々と発表し、大出佳奈さん・田中湧希君の「砂糖電池」の研究が優秀賞をいただきました。

## リベラルサイエンス地学に参加して

野尻 尚志

2年7組 文京区立第六中学校出身

今回、リベラルサイエンス地学に参加させてもらい、私は普通クラスではなかなかできない貴重な体験をさせてもらいました。地質標本館でのプレゼンテーションでは、自分の頭では理解していても、それをわかりやすくまとめ、口に出して相手に伝えることの難しさを改めて感じさせられました。この経験は人を前にして自分の意見を発表する度胸をつけさせてくれました。筑波宇宙センターでは、人工衛星やパラボラアンテナの構造、ロケットの仕組みや燃料、方向転換の方法を知ること、宇宙空間の実験室の実物大模型、宇宙飛行士の訓練所を見学することができました。専門的なことを知るには、専門の施設に行き見学する、専門家の話を聞くことが最も良い方法だと思いますが、なかなか難しいことです。今回の貴重な体験を、今後に生かしていければと思います。また機会があれば、理科以外にも学ぶことの多いSSH活動に参加したいです。



普通クラスの生徒もプレゼンテーションをしました

## 地球と宇宙と

小川 雄樹

1年10組 川崎市立大師中学校出身

今回の「リベラルサイエンス地学」では、地質標本館で地球の地質を、JAXAで宇宙技術について学ぶことを、私自身の目的として活動しました。

まず私たちが見学したのは、地質標本館です。この施設に入り、まず目にとまるのは褶曲した(強い力を受けて、曲がっている)地層の模型です。この標本館には、化石、岩石など地学関係の展示品が数多くあります。一通り見学をした後、私たちはいつもの通り即興プレゼンテーションに移りました。私は火山の噴火について発表。この日は他クラスの生徒も発表したのですが、質が高く、非常に勉強になりました。

JAXAでは、人工衛星やロケットなどの科学技術の展示を見たり、その講義を受けました。以前、学校にも来ていただいた岡田先生による、HⅡ-Aロケットの説明が私にとって印象深い思い出です。先生自身が製作に携わったロケットということもあり、非常に熱意のこもった良いお話を聞くことができました。

今回のSSH活動では、私の夢である宇宙科学者への道を更に確かにする、そんな指標を確認できました。



自分たちでもロケットを打ち上げたくまりました

## 高校生シンポジウムに参加して

永田 貴之

3年9組 練馬区立開進第三中学校出身

僕は10月9日に東京工業大学で行われたプラズマ核融合学会主催の高校生シンポジウムに参加し、グライダーの機体要素と揚力の関係について3人で発表しました。研究は3人で分担して行い、僕は主翼について研究しました。面積を統一した主翼の平面形や迎え角を変化させていき、揚力係数がどのように変化していくかを観察してどのような翼が効率良く揚力を発生できるのかを考察しました。研究で大変だったところは実験方法の確立です。初期の実験方法は誤差が大きく参考にならないデータもかなりあったため、実験方法を何回も変更しました。また、部活動を引退するまでは練習に参加できない時間もかなりあり、部活動との両立があまりできませんでした。しかし、今回の発表会では他の高校生の研究から色々な物の見方や考え方を学ぶことができた上、大学の研究者の方や、他の高校の教職員の方々にアドバイスを受けることができ、とても有意義でした。

最後に、お忙しい中夜遅くまでの実験や発表準備などにご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。



研究成果を堂々と発表してきました

# お知らせ

## ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月20日、7月8日に「生徒による授業評価アンケート」を行いました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプAに9名の先生方が候補として決まりました。保護者の皆様には、11月16、17日の「一斉公開授業」をはじめ、11月27日までにご都合の良い日に来校の上、9名の先生方の授業をご覧いただき、保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。

### 【2010年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

	教員名	教科
中等部	東出 葉月	国語科
	青木 直也	数学科
	高橋佑未子	英語科
高等学校	数馬 大介	国語科
	野口 大輔	国語科
	石井 裕孝	地歴科
	山崎 一沙	保健体育科
	鶴岡 薫	芸術科(美術)
	山口恵美子	芸術科(音楽)

#### ※付記

以下の過去3年間にベストティーチャー・タイプAに選ばれた受賞者は、規定により、候補から除外されています。

2007年度：石井良・小松原洋行

2008年度：高橋光太・古谷知永

2009年度：浅野幸介・宮嶋孝一・米谷昭人

※授業実施時間は学級担任または学校にお問い合わせください。「一斉公開授業」の時間割は後日お知らせいたします。

## 行事予定

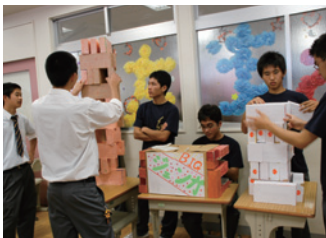
### November 11月

- 1日(月) 学園建学68周年記念式典(湘南校舎)(生徒休業日)
- 2日(火) 朝礼、建学記念式典、短縮授業
- 3日(水) 文化の日
- 4日(木) マナー講座(中1)
- 6日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 11日(木) 生徒会立会演説会(1限目)
- 12日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 13日(土) 保護者会(高1)、東海大学付属推薦者保護者会(高3)
- 14日(日) 英検2次、受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 16日(火) 一斉公開授業②、校医相談日
- 17日(水) 一斉公開授業②、専門医によるカウンセリング
- 18日(木) 学園高大連携総合試験(高3)、外部実力試験(中等部、高1、2)
- 20日(土) SSH、科学英語教員研修会
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 25日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 27日(土) 後援会委員総会
- 30日(火) 後期中間試験(中等部～12月1日)(高1、2～12月3日) 卒業試験(高3～12月3日)

### December 12月

- 2日(木) スポーツ大会(中等部 アリーナにて午前のみ、午後授業)
- 3日(金) 校外行事(中等部)
- 5日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 6日(月) 自宅学習日(高3)
- 7日(火) 答案返却日(高3)
- 8日(水) 朝礼、特別講座開始(高3)、短縮授業
- 11日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 15日(水) 生徒自宅学習日(中1、2、高1～3) マナー講座(中3)(高校入試相談日)
- 16日(木) 保護者面談(中等部～25日)
- 18日(土) 保護者会(中3)
- 21日(火) 校医相談日
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) 木曜日の授業、冬期休暇前諸注意、大掃除(7限目)
- 25日(土) 冬期講習(~28日) 吹奏楽部第21回定期演奏会(ミュージア川崎、~26日)
- 29日(水) 年末年始休暇(~1月5日)
- 31日(金) カナダ中期留学(~3月1日)

## 建学祭のスナップ



## 編集後記

沖縄・奄美でマンガース根絶作戦が始まる。マンガースといえば、毒蛇ハブ退治の切り札として100年ほど前に持ち込まれた外来種。ところが、このマンガース君、ハブはほとんど獲ってくれない。それどころか、天然記念物のヤンバルクイナやアマミノクロウサギなどの希少種を襲い、沖縄・奄美の生態系を脅かしている。もちろん責任がマンガースではなく、人間にあることは明らかだ。ちなみに、アマミノクロウサギはハブと同じ穴で冬眠することで外敵から身を護るといふ。名古屋で開かれた「生物多様性COP10」で報告された。「生物多様性」は3年SSHクラスの「科学倫理」のテーマの1つである。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>